

第3回田原本町小学校3校統合推進委員会における案件の報告内容

	項目	内容
案件1	学校教育PT進捗状況報告 【統合校グランドデザイン案について】	県や町の方針を受け定めた「基本理念」・「学校教育目標」の実現にあたり「めざす学校像」・「めざす児童像」に関する協議内容を報告
案件1	学校教育PT進捗状況報告 【小小連携・交流について】	開校年度にあわせたスケジュール、連携手法について報告
案件2	総務PT進捗状況報告 【通学路ルート検討について】	徒歩通学範囲案をふまえた通学路ルート案を報告
案件2	総務PT進捗状況報告 【通学路課題箇所について】	通学路案ルート内にある課題箇所について現地確認結果をふまえ報告
案件3	施設設備PT進捗状況報告 【ICT環境について】	ICT環境のコンセプト、環境整備の方針について報告
案件3	施設設備PT進捗状況報告 【こどもワークショップについて】	3校の児童を対象に開催したこどもワークショップで出た意見について報告
案件4	田原本町小学校3校統合施設基本計画（案）に関するパブリックコメントについて	提出された意見の内、工事中の屋外運動場の利用、プール授業の運営、給食提供の方式、通学路・スクールバスに関する町の方針を報告

第3回田原本町小学校3校統合推進委員会において委員より出た質疑及びそれに対する回答

	質疑	回答
案件2	集団登校できない集落もあるため、不審者に狙われやすい死角になるような場所も併せて検討いただきたい。	現地に赴き、人目につきにくい危険性のある場所については、通学路から除外を行う。集団登校については児童の減少も鑑みながら、ルート等継続検討を行っていく。
案件3	充電保管庫は不要とのことであるが、児童はタブレットを毎日持ち帰って充電するということか。	現在の運用では充電が足りなくなった場合に各自、家に持ち帰って充電する形をとっている。
案件3	現役の子に将来の施設について意見を伺うことは意義があると思う。来年からの工事の影響が出てくるため、田原本小学校の4年生以下の児童にも意見を聴取することも必要ではないか。	工事前に4年生以下の児童の意見を聴取することも検討したい。
案件4	工事期間中の仮設屋外運動場については屋外の体育活動には影響ないと記載されていたが、鉄棒や遊具の移設を行う等の記載はなかった。移設を行う場合にさらに面積が小さくなるが、その点に関して検討は行っているのか。	来年度以降、遊具についての配置検討を学校と行い、体育活動が問題なく行えるような計画を行う。現段階では、具体的な遊具の配置検討は行っていない。
案件4	プールの民間委託料も言い値となる可能性があり、財政委託の負担が増える懸念がある。また、移動時間等がプール授業に影響がないか検討は行っているのか。	民間スイミングスクール事業者は町内に1事業者のみであり、東小学校をモデル事業として行った際には、委託料は事業者の提示金額で実施している。順次、町内の学校はスイミングスクールへの利用を予定しているが、利用人数が増えることで、事業者側にもメリットがあるため、価格交渉等の余地があるということ伺っている。事業者が廃業した際は、県営、近隣市町村のプール施設を利用することとなるが、移動時間等の授業への支障は今後の課題であると考えている。
案件4	基本計画書にはスクールバスの導入が前提として	基本計画書は、施設についての基本計画であるため、スクールバスや制

	記載されるのか。	服、校章などのソフト面については記載せず、別の形でのご報告となる。
案件 4	敷地内においてスクールバスの乗降場所、転回場所は計画しているのか。	スクールバスの運用方法に関しては今後決められていくと思われるが、現在の計画では敷地内にスクールバスの乗降、転回が可能な計画としている。未確定であるため記載していない。また、スクールバスの運用方法が決まり次第、乗降場所等を明示する。

第3回田原本町小学校3校統合推進委員会において委員より出た意見

	意見
案件1	小小連携のみならず、幼小、小中、地域とのつながりがないと学校は成り立たないため、そういった視点もランドデザイン案に盛り込んでいただきたい。
案件2	不審者対応について保護者の負担が多く、地域の方に協力をいただいている面もある。ルート等に関しては、開校後も見直しが必要になると考えられる。
案件2	近年、気温の上昇が問題となっており、ルートとは別に距離が適切か検討の必要がある。往復5kmという距離が安全か検討いただきたい。
案件2	田原本小学校では地域の方が見守りを行っていただいている。今後も、地域への協力を働きかけていくべきである。また、暑さ対策等については、適宜休憩を取る、ランドセルなどの荷物を軽くするなど子どもの負担を減らしていくべきである。
案件2	通学路に関しては、中学生に意見を聴取しても良いのではないかと。児童数の減少や仕事を持つ保護者の増加による見守りに参加できる保護者不足など、5年先を見据えた検討を行っていただきたい。見守りの人が立っただけで運転者のマナーは向上し、児童の安全性も向上すると考える。歩道橋の階段の上り下りは低学年にとっては大変である。平面での横断など、児童の負担を軽減することも検討してもいいのではないかと。
案件2	ルートの検討と共に、児童の通学中の安全確保の在り方、基礎体力向上、見守りのボランティアなど体制作りも検討いただきたい。
案件3	通学路距離が長くなるという問題もあるため、学校に充電保管庫を設置し、タブレットの持ち運びの負担を無くすこと等柔軟に検討いただきたい。或いは、持ち帰るのはタブレットだけにし、教科書などは持ち帰らない等、柔軟に検討いただきたい。
案件4	プールの施設の維持管理費を考慮すると、民間委託の方がランニングコストを安価に抑えられる可能性もあるため、具体的な数字で検討いただきたい。また、先生方の負担を考慮すると、専門の先生に指導していただくということもメリットである。
案件4	東小学校は各クラス10人程度であるため、民間スイミングスクールでも問題なく運用できたが、統合後は1学年100名程度に増加するため、ベストシーズンの6～7月にすべての学年が入ることができない可能性がある。シーズン外のプール利用により、健康面の懸念がある。
案件4	給食調理場について、次年度以降もセンター方式の方向で進めていただきたい。

案件 4	スクールバス利用に関しては、距離の基準があるが、送り迎えができない等の個別の家庭事情（遠距離通学になるが送迎もできないため、移住を考えているという声も聞いている）も踏まえたスクールバスの運用計画を検討いただきたい。
案件 4	スクールバスの運用にあたり、家庭事情に関しては線引きが難しく、平等性の点からも難しい面もあると感じる。
案件 4	スクールバスに関しては町の財政負担の問題や、地域全体がバス路線の縮小傾向であること、過疎化に伴う通学者の減少等の問題を抱えながら、絶えず見直しの視点が必要になると考える。